

令和6年度事業団報告書

事業団管理の概要

1. 理事会、監事会、評議員会等状況

- 令和6年5月16日 監事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催。監事（馬淵惺敬氏、増田等氏）による令和5年度事業、会計収支決算等の全般にわたる監査を実施し、事業団定款第32条に基づき監事の承認を受けた。
- 令和6年6月3日 第161回（令和6年度第1回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し令和5年度事業報告・会計収支決算等の審議を行い、監事監査報告のうえ事業団定款第24条に基づき理事会の承認を受けた。また、役員（理事）候補者の選任、評議員候補者の選任、定時評議員会の招集、令和6年度補正予算、諸規程の改正、評議員選任・解任委員会の招集について審議を行い理事会の承認を受けた。報告事項として理事長及び業務執行理事職務執行状況報告、利益相反行為及び双方代理となる事項について理事会に報告した。
- 令和6年6月10日 評議員選任・解任委員会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、評議員の選任について承認を受けた。
- 令和6年6月19日 第15回（令和6年度第1回）定時評議員会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、令和5年度事業報告・会計収支決算等の審議を行い、監事監査報告のうえ、評議員会の承認を受けた。また役員（理事）の選任について審議を行い、評議員会の承認を受けた。
- 令和6年6月20日 令和5年度資産総額の変更登記について組合等登記令第3条第3項に基づき法務局への登記手続を完了した。（令和6年6月20日完了）
- 令和6年12月12日 社会福祉法第45条の14第9項で準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の規定（理事会の決議の省略）に基づき、令和6年度補正予算、諸規程（給与規程等の一部）の改正、利益相反行為及び双方代理となる事項について承認を受けた。（第162回令和6年度第2回理事会）
- 令和7年3月21日 第163回（令和6年度第3回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、令和6年度補正予算、令和7年度事業計画、令和7年度収支予算、諸規程改正、利益相反行為及び双方代理となる事項、人事案件（施設長の任免）について審議を行い理事会の承認を受けた。また理事長及び業務執行理事職務執行状況報告、利益相反行為及び双方代理となる事項について理事会に報告した。

2. 経営計画

- ・本年度も財政改革に取組み、事務費事業費経費等の削減を実施し、将来に向けて安定経営が出来るよう各施設の運転資金等の財源確保に努めた。
- ・令和元年度より引き続き法人消費税計算方法を本則課税方式で申告し節税対策を行った。
- ・八代市立希望の里たいよう（障がい福祉サービス事業）の指定管理者と保寿寮（養護老人ホーム）と児童発達支援センターのぞみ（障害児通所支援事業）とグループホームおおぞら荘（共同生活援助事業）と相談支援事業所たいよう（相談支援事業）を自主事業、また、保寿寮（高齢者短期入所事業）を受託事業、児童発達支援センター地域障害児支援体制強化事業（機能強化等、巡回支援専門員整備）を補助事業として運営。利用者に対して質の高い福祉サービスを提供し、安全で安心して利用できるよう施設管理運営に努め、特に職員の意識改革を図った。
- ・福祉介護職員等処遇改善加算、養護老人ホーム処遇改善加算を取得し処遇改善（賃金改善）を実施。
- ・あらゆるハラスメントの防止に取り組み、働きやすい職場環境を実現する。
- ・事業継続計画（BCP）を策定。大規模震災や水害など自然災害が起きたとしても、サービスを継続的に提供できるよう事業継続計画を図る。
- ・次世代育成支援対策推進法一般事業主行動計画に基づき以下のことを実施する（育児介護休業法に基づく育児休業等、雇用保険法に基づく育児休業給付、労働基準法に基づく産前産後休業など諸制度の周年次有給休暇の取得の促進のための措置の実施）。

○法人、施設経営への参画意識を高める
法人の経営基本方針（利用者主体の質の高い福祉サービスの提供、経営基盤の強化と経営の効率化、総合力の発揮、地域と共にある施設、職員の資質の向上と意識改革）を職員一人一人が認識し、施設等の収入(措置費・給付費)、受託事業収入を基本とした事業経費の効率的な運用を行った。

○人材の育成
今、地域社会が求める福祉ニーズの内容は、より高度化、複雑化しており、このような複雑多様化するニーズに柔軟に対応しながら、福祉サービス利用者の人間性を尊重し、より満足度の高い福祉サービス提供するためには、各種業務に従事している職員一人一人が、組織人としてのモラルを高め自己啓発を行うと共に、その職種に応じた専門的知識・支援技術の向上に努めた。

4. 指定管理者の状況
- ・ 八代市立希望の里たいよう 指定期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日の5年間
5. 施設運営の変更等
- ・ 特に無
6. 苦情相談状況
- ・ 各施設に苦情受付担当者及び苦情解決責任者を置き、利用者が福祉サービスを適正に利用できるように相談業務を実施した。その結果、特に苦情に繋がるものはなかった。また、苦情解決相談委員会を開催し各施設の状況報告を行い、苦情解決第三者委員により助言をいただいた。
7. 施設長会
- ・ 事業団及び各施設の連携と円滑な運営を図るため、毎月1回定例的に開催した。
・ 必要に応じて臨時に施設長会を開催した。
8. 職員会議
- ・ 事業団職員の意志疎通を図り、連携を深めるため、各事業所において定例職員会議の開催や令和6年5月、9月、令和7年2月に事業団会計庶務担当者会議を実施した。なお、9月と2月に事業団内部経理監査を併せて実施した。
9. 職員研修
- ・ 資質の向上やキャリアアップに向け、各施設において熊本県社会福祉協議会等が主催するキャリアパス研修等の受講支援を実施。研修の伝達や内部研修・勉強会等を実施した。
・ 事業団職員としての意識向上・統一を図るため正規職員を対象とし、顧問契約社会保険労務士によるハラスメント防止研修を行い、その後意見交換会を実施した。
・ 事業団職員が人権を正しく理解し、施設利用の皆様へのサービス向上につなげるため、各施設において虐待防止や身体拘束について研修を行い、職員一人ひとりの人権意識の高揚を図った。
10. 人事評価
- ・ 令和6年11月15日付、役職別及び職種別ごとに行動評価並びに目標達成評価を実施した。
評価の内容については、スーパーバイザーとスーパーバイジーの関係において、課題（スーパービジョン）と達成案件を共有し、スーパーバイザーの助言により今後の目標設定を行った。上司部下の信頼関係を構築し、個々の職員に合わせた直近で取り組むべき課題を明確にすることで、働きやすい環境作りくりに取り組んだ。
11. 人事関係
- ・ 事業団組織（各施設間）機能をより強化し、かつ、活性化を図りながら円滑、円満で効率的な運営ができるよう職員体制を整え、又職員の活力を図るため人事異動等を実施した。
12. 寄付関係
- ・ 無
13. 行事实施表
- ・ ・ ・ ・ ・ 別表1
14. 自主事業及び受託施設等の運営事業状況

(1) 老人福祉施設 養護老人ホーム（入所）	保 寿 寮
(2) 障害児通所支援事業所・ 八代圏域地域障害児支援体制強化事業	児童発達支援センターのぞみ
(3) 共同生活援助事業	グループホームおおぞら荘
(4) 障がい福祉サービス事業所	八代市立希望の里たいよう
(5) 相談支援事業	相談支援事業所たいよう

令和 6 年 度 行 事 実 施 表

月 別	内 容
R 6. 4	1. 辞令交付式（市長応接室）、職員辞令（異動・昇給等） 19. 給与支払 25. 定例施設長会（たいよう） 28. 税理士月次監査（決算）
5	1. 辞令交付（育休復帰） 7. 税理士監査（決算） 10. 施設長・庶務担当者会議（たいよう） 16. 事業団監事会（たいよう） 21. 給与支払 23. 令和 6 年度社会福祉法人指導監査研修会（熊本県庁） 27. 定例施設長会（たいよう） 28. 令和 6 年度人権問題啓発推進協議会総会（ワイトパス）
6	1. 理事会（第 1 回） 10. 評議員選任・解任委員会 18. 社会保険算定基礎届講習会（桜十字ホール） 19. 定時評議員会（たいよう） 21. 給与支払 21. 令和 6 年度社会福祉法人会計研修会（オンライン） 25. 定例施設長会（たいよう） 27. 市社協評議員会（桜十字ホール） 28. 期末勤勉手当・一時金支払 28. 人事評価中間面接
7	3. 八代市地域福祉計画地域福祉活動計画策定委員会（八代市） 11. 税理士月次監査 12. 職員募集関係学校訪問（尚綱大、九看大） 16. 職員互助会委員会（たいよう） 19. 給与支払 21. 八代手をつなぐ育成会総会 25. 定例施設長会議（たいよう）
8	15. 臨時施設長会議（たいよう） 21. 給与支払 27. 定例施設長会（たいよう）
9	19. 税理士月次監査 20. 給与支払 25. 定例施設長会（たいよう） 26. 庶務担当者会議・内部経理監査（たいよう）
1 0	3-4. 全国社会福祉事業団協議会九州ブロック職員研修（福岡市） 5. いきいきふくしスポーツ大会 21. 給与支払 22. 安全運転管理者講習（桜十字ホール） 30. 八代市地域福祉計画地域福祉活動計画策定評価委員会（八代市）
1 1	5. 臨時施設長会議（たいよう） 6. 職員定期健康診断 10. 職員採用試験 14. 社会保険事務講習会（桜十字ホール） 15. 令和 6 年度職員人事考課 16. 令和 6 年度苦情相談委員会（たいよう） 26. 定例施設長会議（たいよう）
1 2	3. 税理士月次監査 10. 期末勤勉手当・一時金支払 12. 第 2 回理事会（決議の省略） 18. 八代市地域福祉計画地域福祉活動計画策定評価委員会（八代市） 18. 税理士監査（年末調整） 20. 給与支払 25. 定例施設長会 27. 仕事納め式 27. 年末調整支払
R 7. 1	4. 事業団仕事始め式（各施設） 15. ふれあいフェスタ会議（社協） 21. 給与支払 23. 税理士月次監査（給与支払報告書） 28. 定例施設長会議
2	8. 八代市ふれあいフェスタ（鏡文化センター/パネル展示） 13. 税理士月次監査 20. 特定保健指導 1 名 21. 給与支払 21. 庶務担当者会議/内部経理監査（たいよう） 25. 定例施設長会議（たいよう） 26. 共同募金審査委員会（市社協） 27. 互助会委員会（たいよう）
3	5. 社会福祉法人労務研修会（オンライン） 6. ハラスメント研修（たいよう/社労士） 13. 共同募金委員会運営委員会（市社協） 21. 給与・一時金支払 21. 第 3 回理事会 21. 永年勤続 25 年表彰式 1 名（たいよう） 25. 定例施設長会議（たいよう） 25. 処遇改善加算届出関係会議（たいよう） 26. 新規採用職員事前説明会（たいよう） 26. 市社協評議員会（市社協）

令和6年度 指定相談支援事業所たいていよう事業報告書

(1) 設置目的

地域の障がい者等の福祉に関する各般の問題につき、障がい者等や家族等からの相談に応じ、必要な情報提供や助言、障がい福祉サービスの利用支援及び地域相談支援等を行うと共に関係機関や福祉サービス提供事業者と連絡調整や権利擁護のために必要な援助を行い、その他の便宜を総合的に供与し、障がい者（児）が安心して地域生活が営むことができるように支援することを目的とする。

(2) 設 置 社会福祉法人 八代市社会福祉事業団

(3) 所 在 地 八代市本野町991番地1

(4) 事業開始年月日 平成27年4月1日

(5) 実施事業内容

1. 指定一般相談支援事業・・・令和6年度につきましては実施なし（該当者なし）

①地域移行支援

障害者支援施設等に入所している障害者又は精神科病院等に入院している精神障害者につき、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談その他の必要な支援を行う。

対 象

ア 障害者支援施設、のぞみの園又は療養介護を行う病院に入所している障害者。

※児童福祉施設に入所する18歳以上の者、障害者支援施設等に入所する15歳以上の障害者みなしの者も対象

イ 精神科病院等に入院している精神障害者。

※入院期間が1年以上の者

※入院期間が1年未満である者であっても措置入院や医療保護入院者で住居の確保などの支援を必要とする者や、地域移行支援を行わなければ入院の長期化見込まれる者についても対象

②地域定着支援

居宅において単身等で生活する障害者につき、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に相談その他必要な支援を行う。

対 象

ア 居宅において単身であるため緊急時の支援が見込めない状況にある者

イ 居宅において家族と同居している障害者であっても、当該家族等が障害、疾病等のため、障害者に対し、当該家族等による緊急時の支援が見込めない状況にある者

③基本相談支援

地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じる。

2. 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

- ① 障害福祉サービスの申請若しくは変更の申請に係る障がい者若しくは障がい児の保護者又は地域相談支援の申請に係る障がい者の心身の状況、その置かれている環境、サービスの利用に関する意向その他の事情を勘案し、利用する障害福祉サービス又地域相談支援の種類及び内容等を記載したサービス等利用計画案を作成する。

「サービス等利用計画案等の記載事項」

- ア 利用者及びその家族の生活に対する意向
- イ 総合的な援助の方針
- ウ 生活全般の解決すべき課題
- エ 提供される福祉サービス等の目標及びその達成時期
- オ 福祉サービス等の種類、内容、量
- カ 福祉サービス等を提供する上での留意事項
- キ モニタリング期間

- ② 支給決定若しくは支給決定の変更の決定後に、指定障害福祉サービス事業者、指定一般相談支援事業者との連絡調整等の便宜を供与するとともに、支給決定又は地域相談支援給付決定に係るサービスの種類及び内容、担当者等を記載した「サービス等利用計画」を作成する。

「サービス等利用計画等の記載事項」

サービス等利用計画案の内容に加え、次の事項を追加。

- ア 福祉サービス等の利用料
- イ 福祉サービス等の担当者

対象者

- ア 計画相談支援

障害福祉サービスの申請若しくは変更の申請に係る障害者若しくは障害児の保護者又は地域相談支援の申請に係る障害者。

- イ 障害児相談支援

障害児通所支援の申請若しくは変更の申請に係る障害児の保護者。

③継続サービス利用支援及び継続障害児支援利用援助

支給決定障害者等が、支給決定の有効期間内において、サービス等利用計画又は障害児支援利用計画が適切であるかどうかにつき、モニタリング期間ごとに、障害福祉サービス等の利用状況を検証し、その結果及び心身の状況、その置かれている環境、サービスの利用に関する意向その他の事情を勘案し、「サービス等利用計画」の見直しを行い、その結果に基づき次のいずれかの便宜を供与する。

ア「サービス等利用計画」を変更するとともに、関係者との連絡調整等を行う。

イ 新たな支給決定若しくは支給決定の変更の決定又は地域相談支援給付決定が必要と認められる場合において、当該支給決定障害者等又は地域相談支援給付決定障害者に対し、当該申請の勧奨を行う。

対象者

指定特定相談支援事業者が提供したサービス利用支援により「サービス等利用計画」が作成された支給決定障害者等又は地域相談支援給付決定障害者。

④基本相談支援

地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じる。

（６）職員の資質向上に向けた取り組み。 内部研修の実施・外部研修への参加

- ①八代市障がい者支援協議会相談支援部会への参加。（事例検討など勉強会）
- ②熊本県県南地域相談支援事業所連絡協議会への参加。（事例検討など勉強会）

（７）関係機関等との連携

- ①利用者並びにご家族との面会、連絡を密に図り、②に記載している機関等への協力体制を実施するため、利用者を中心としたネットワーク作りに努めました。
- ②八代市担当課並びに保健師、福祉事務所、熊本県、担当地域振興局、社会福祉協議会、障がい者（児）事業所、医療機関、職業安定所、支援学校等、民生児童委員、障がい者相談員等との連携に努めました。
- ③サービス担当者会議等により、本人の希望等、計画への共通理解、情報共有を図った。
- ④コロナの状況を常に把握し、リスクレベルに応じた対応を行った。

（８）利用者数（契約者数）

対象者	利用者数（令和7年3月末現在）
障がい者	47 名
障がい児	32 名
計	79 名

（９）実施支援数

①訪問相談	14件	④サービス担当者会議等	106件
②来所相談	2件	⑤関係機関との調整	279件
③電話相談	63件	⑥同行・調査等	601件

(10) 計画相談支援・障がい児計画相談支援

計画相談支援	
契約者数	32 名
1. サービス等利用計画作成	28 件
2. モニタリング	63 件
3. サービス担当者会議実施加算	0件
4. サービス担当者会議集中支援加算	10件
5. サービス提供時モニタリング加算	172 件
6. 医療・保育・教育機関等連携加算	0件
7. 居宅介護支援事業所等連携加算	0件

障がい児計画相談支援	
契約者数	47 名
1. サービス等利用計画作成	48 件
2. モニタリング	70 件
3. サービス担当者会議実施加算	3 件
4. サービス担当者会議集中支援加算	8 件
5. サービス提供時モニタリング加算	48 件
6. 医療・保育・教育機関等連携加算	2 件

老人福祉施設 養護老人ホーム 保 寿 寮

1. 設 置 目 的

環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な者を入所させて養護するとともに、その者が自立した日常生活を営み、社会参加活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の援助を行うことを目的とする。

2. 基 本 方 針

- ・入所者の人格を尊重し、思いやりの心と笑顔で接します。
- ・安全で安心な生活環境を提供します。
- ・それぞれの能力にあった支援を計画的に行います。
- ・開かれた施設・地域に根ざした施設を目指します。
- ・職員は資質向上を目指し、常に努力します。

3. 処遇方針体系（別紙資料1）

4. 入所者の状況

令和6年4月1日現在

	入所者数			
		男	女	合計
入所状況	市内	22	28	50
	市外	0	0	0
	合計	22	28	50
平均年齢		78.9	83.9	81.7
最高年齢		90	101	—
最低年齢		66	70	—

市外入所者内訳

令和7年3月31日現在

	入所者数			
		男	女	合計
入所状況	市内	24	26	50
	市外	0	0	0
	合計	24	26	50
平均年齢		78.9	80.9	79.9
最高年齢		91	92	—
最低年齢		70	68	—

市外入所者内訳

5. 年齢別入所状況

令和6年4月1日現在

	59歳以下	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95歳以上	合計
男	0	0	1	8	3	6	3	1	0	22
女	0	0	0	6	5	4	6	4	3	28
合計	0	0	1	14	8	10	9	5	3	50

令和7年3月31日現在

	59歳以下	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95歳以上	合計
男	0	0	0	9	5	6	3	1	0	24
女	0	0	2	6	4	6	5	3	0	26
合計	0	0	2	15	9	12	8	4	0	50

6. ショートステイ利用状況

利 用 者 0 名 (男 0 名 女 0 名)
 ・理 由 ……社会的、私的理由
 ・延べ日数 ……0 日

7. 外部介護サービス利用状況

・サービス内容：通所介護事業所（デイサービスセンター）利用

令和 6 年 4 月 1 日現在 合計 13 名
 （要支援 3 名、要介護者 10 名）

	利用者数
男	5
女	8
合計	13

令和 7 年 3 月 31 日現在 合計 10 名
 （要支援 2 名、要介護者 8 名）

	利用者数
男	4
女	6
合計	10

8. 障害者加算認定対象者増減状況

令和 6 年 4 月 1 日現在
 （身障 1 名、知的 1 名、精神 7 名）
 医療的診断書 0 名）

	対象者数
男	5
女	5
合計	10

令和 7 年 3 月 31 日現在
 （身障 1 名、知的 1 名、精神 7 名）
 医療的診断書 0 名）

	対象者数
男	5
女	5
合計	10

9. 職員の配置状況

令和 6 年 4 月 1 日現在

職 種	人数
施 設 長	1
事務員兼支援員	1
栄養士（嘱託）	1
看 護 師	1
主任生活相談員	1
生 活 相 談 員	1
主 任 支 援 員	1
支 援 員	1
支援員（嘱託）	2
支援員（臨時）	1
嘱 託 医	1
合計	12

令和 7 年 3 月 31 日現在

職 種	人数
施 設 長	1
事務員兼支援員	1
栄養士（嘱託）	1
看 護 師	1
主任生活相談員	1
生 活 相 談 員	1
主 任 支 援 員	1
支 援 員	1
支援員（嘱託）	2
支援員（臨時）	1
嘱 託 医	1
合計	12

10. 施設整備状況

日付	整備箇所	整備理由	金額
4/6	洗濯場給水漏水修理	配管漏水の為	22,000 円
4/25	温泉菅漏水修理	配管漏水の為	114,400 円
5/21	ボイラー水濡れ修理	配管漏水の為	44,000 円
6/22	地下ピット給湯管漏水修理	配管漏水の為	77,000 円
8/16	居室エアコン交換工事	動作不良の為	148,500 円
8/22	居室壁クロス工事	劣化による破損が見られた為	43,000 円
9/3	車椅子キャスター修理	劣化による摩耗が見られた為	35,420 円
10/11	給水ポンプ漏水修繕工事	配管漏水の為	993,300 円
10/21	エレベーターシャフト外壁シーリング修繕工事	外壁より雨漏りが見られた為	227,700 円
10/30	温泉用蛇口交換工事	配管漏水の為	29,700 円
11/5	階段手摺修繕工事	劣化による破損が見られた為	42,900 円
11/21	浴槽蛇口交換工事	配管漏水の為	22,000 円
12/2	食堂エアコン設置工事	劣化による機能低下の為	1,540,000 円
12/5	ボイラー給湯管漏水修繕	配管漏水の為	66,000 円
12/9	談話室エアコン修理	動作不良の為	49,500 円
1/24	冷蔵ショーケース交換	動作不良の為	165,000 円
1/30	生ごみ処理機水分過多発酵不能復帰作業	動作不良の為	36,000 円
1/31	談話室エアコン修理	動作不良の為	29,700 円
2/7	支援室シンク漏水修繕	配管漏水の為	11,000 円
2/20	会議室エアコン修理	動作不良の為	24,739 円
2/21	食堂フロア配膳窓レール修繕工事	動作不良の為	147,950 円
3/31	玄関横 FIX 窓修繕工事	亀裂が見られた為	753,500 円
設備整備合計金額：4,623,309 円			

1 1.令和 6 年度保寿寮入所者異動表

①. 在籍者数（月初現在）

単位：人

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
在籍者数	50	50	50	50	50	49	50	50	50	50	49	50

②. 入退所状況

（1）入所(12 名) （昨年度 9 名）

月/日	氏名(男女別)	入所前居住先
4/22	女 性	ケアハウス
4/26	男 性	自 宅
7/29	女 性	共同生活援助
8/1	男 性	自 宅
9/4	女 性	軽費老人ホーム
9/27	男 性	病 院
10/23	男 性	自 宅
11/18	女 性	住宅型有料老人ホーム
12/25	女 性	病 院
1/17	女 性	ケアハウス
1/28	男 性	病 院
2/19	女 性	自 宅

（2）退所(12 名) （昨年度 9 名）

月/日	氏名(男女別)	退所先
4/15	女 性	認知症対応型共同生活介護
4/17	女 性	病 院
7/5	男 性	自 宅
7/8	男 性	介護老人保健施設
8/21	男 性	有料老人ホーム
9/17	女 性	病 院
10/4	女 性	病 院
11/5	女 性	死亡(施設にて)
12/11	女 性	有料老人ホーム
1/15	女 性	住宅型有料老人ホーム
1/16	女 性	病 院
1/22	女 性	住宅型有料老人ホーム

1 2. 事故報告件数

令和 6 年度件数 11 件（昨年度 23 件）
（内 訳）

- ① 転倒（屋内） 4 件（昨年度 12 件）
- ② 転倒（屋外） 2 件（昨年度 2 件）
- ③ 誤嚥（食事） 0 件（昨年度 0 件）
- ④ 服薬（誤飲） 0 件（昨年度 0 件）
- ⑤ 無断外出 1 件（昨年度 5 件）
- ⑥ 救急医療 0 件（昨年度 0 件）
- ⑦ その他 4 件（昨年度 4 件）

※職員会議にて報告・検討

1 3. 苦情相談件数

令和 6 年度件数 11 件(内:未解決 0 件)(昨年度 14 件)
（内 訳）

- ① 他入所者とのトラブル 0 件（昨年度 0 件）
（暴力・暴言等）
- ② 被害妄想と思われるもの 1 件（昨年度 0 件）
（居室侵入等）
- ③ 職員の対応等に対するもの 2 件（昨年度 1 件）
- ④ 身元・地域・事業所等外部からの苦情相談 0 件（昨年度 0 件）
- ⑤ その他 8 件（昨年度 13 件）

※職員会議にて報告・検討

1 4. 家族及び身元引受人との関わり

- ①緊急時の連絡調整
 - ・入院、通院時の立ち合い、協力等
- ②入所中の状況・健康管理
 - ・誕生月にて生活、健康状況等を各担当より文書にて報告
 - ※コロナ前は誕生月に合わせて面会を実施していた。
- ③預貯金管理・報告を定期的に行った。
- ④希望者については、外出・外泊を実施し、入所者の精神安定に努めた。
 - ※感染者数の減少を考慮。(冠婚葬祭等)
- ⑤面会については会議室を用いて、ソーシャルディスタンスを図り、パーティションを用いて実施した。人数によっては玄関先にてガラス越しに行った。

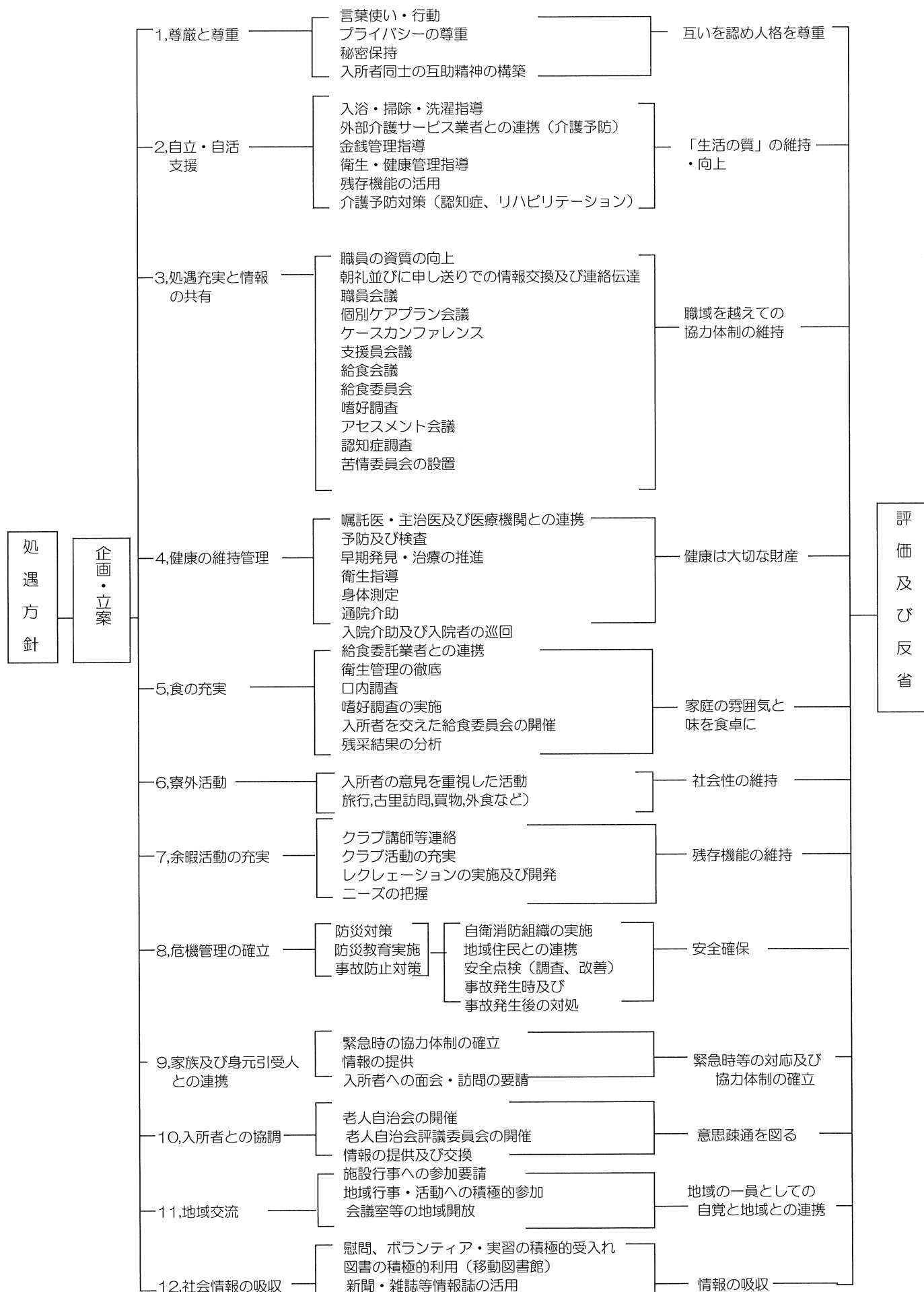
1 5. 職員の資質向上に向けた取り組み

- ①内部研修の実施
 - ・高齢者虐待防止研修
 - ・感染症予防研修(コロナ・食中毒・ノロウイルス等)
 - ・ハラスメント防止研修(運営規程に基づく)
 - ・介護、対人援助技術、相談援助技術向上に向けた取り組み(運営規程に基づく)
- ②事業継続計画(大規模災害並びに感染症 BCP)
 - ・計画書に基づく、初動対応の確認を実施した

1 6. 地域貢献事業(地域との交流等)

- ①日奈久小学校 4 年生との交流会
 - 自己紹介並びにダンスの動画視聴。お礼として文房具並びに感謝状を渡した。
- ②どんどや開催
 - 日奈久校区下西町の協力により、櫓等を設営し開催した。
- ③日奈久校区婦人会との交流
 - 敬老会開催に伴う記念品の贈呈。
- ④実習受け入れ
 - 熊本学園大学ソーシャルワーク実習受入 2 名。

処遇方針体系



行 事 実 施 表

月別	月 例 行 事	寮 内 行 事	健 康 衛 生	地域交流・慰問 関係・その他
4	・自治会 ・職員会議 ・ケアプラン会議	鯉のぼり作成・展示、 預貯金報告、地域清掃 余暇活動	介護訪問調査、 感染症対策委員会	
5	・アセスメント会議	菖蒲風呂、地域清掃	認知症調査、介護訪問調査、	
6	・理髪 ・体調測定 ・誕生会 ・コーヒータ임 ・カラオケ ・特別メニュー食(月1回)	苗植え(から芋)、 寮内草取り 防災訓練(津波・洪水)	介護訪問調査、保健衛生指導、 給食委員会、エアコン清掃、 水質検査(温泉水) 室内消毒、身体拘束廃止委員 会、レジオネラ症防止対策に 関する勉強会、	日奈久小学校4年生交流 (苗植え)
7	・買物日 ・誕生月に御家族へ の近況報告 (各担当から処遇報告)	七夕、預貯金報告 全体レクリエーション 余暇活動	検尿、健康診断(心電図・一般 採血・レントゲン)、介護訪問調査、	日奈久小・老人クラブ連 合会日奈久支部交流会 (七夕飾り) 日奈久中職場体験受入
8		盆供養法話、盆用品買い物 仏壇磨き	嗜好・口内調査、介護訪問調 査、換気扇・トイレ排水溝掃 除、布団クリーニング	熊本学園大学生実習受入
9		敬老会、彼岸供養法話、 寮内草取り・片付け、 地域清掃、余暇活動	給食委員会、介護訪問調査、 消防設備点検、施設内外安全 点検、身体拘束廃止委員会	熊本学園大学生実習受入
10		寮内草取り、余暇活動 預貯金報告、芋掘り 防火避難(昼間想定) 交通安全教室	介護訪問調査、嗜好調査、浄 化槽清掃、貯水槽清掃、ワッ クス清掃、感染症対策委員会、 虐待防止研修会	日奈久小学校4年生交流 (芋掘り) 不在者投票(衆議院議員 選挙)
11		寮内草取り 妙見祭神馬奉納 たいよう祭見学 余暇活動	インフルエンザ予防注射、介 護訪問調査、エアコン清掃、 室内消毒、	
12		正月用品買物、忘年会 大掃除、ゆず風呂 余暇活動、地域清掃	保健衛生指導、介護訪問調査、 ガラス清掃、給食委員会、上 水道水法定検査、浴槽水検査 身体拘束廃止委員会	
1		若風呂、初詣、 預貯金報告、どんどや	感染症対策委員会、 介護訪問調査	入所者現況調査 どんどや櫓設置、交流(日 奈久小4・5年生・婦人 会)
2		豆まき 全体レクリエーション 八代市ふれあいフェスタ 見学	食事摂取調査、 消防設備点検、介護訪問調査、 身体拘束廃止委員会、 室内外安全点検、	
3		防災避難訓練(夜間想定) 彼岸供養、花見 地域清掃活動(寮内草取り)	給食委員会 健康診断(心電図・一般採血・ 検尿)、介護訪問調査	児童発達支援センターの ぞみ交流会 八代市老人クラブ連合会 日奈久支部との交流会

※ケースカンファレンス(随時実施) ※預貯金払出(毎月1回・随時) ※入浴(月・水・金) ※移動図書(毎月1回)

※クラブ活動

・生 花・毎月1回(10名) ・詩 吟・毎月2回(6名) ・書 道・毎月2回(7名) ・音 楽・毎月2回(希望者)
 ・園 芸・随時活動(希望者) ・カラオケ・随時活動(希望者) ・魚釣り

※ワックス清掃(年1回) ※冷暖房機・空調機清掃(年2回) ※ガラス清掃(年1回) ※害虫消毒(毎月)

※室内消毒(年2回) ※各種施設点検(随時)

令和6年度 児童発達支援センターのぞみ事業報告書

1、施設理念

- ① 親子療育を基本とし、療育を通してよりよい家庭関係が育つように支援する。
- ② お子さんが生活しやすくなるように、一人ひとりに応じた支援を行う。

2、基本方針

- ① 懇切丁寧に適切な指導技術をもって指導する
- ② 児童の個々の状況に応じた通所支援計画を作成し、その計画に即した適切な療育支援を提供するため、一日一定時間以上の個別指導を実施する
- ③ サービス提供方法等について理解しやすいように説明を行い、関係する市町村、他の障害福祉サービス事業所、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図る。
- ④ サービス提供終了に際しては、児童又はその家族に対して適切な指導を行うと共に関係する市町村、他の障害福祉サービス事業所、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、サービス支援の情報提供に努める。
- ⑤ 児童それぞれの人格を尊重し、プライバシーの保護に努める。
- ⑥ 苦情解決の第三者委員による苦情処理に添った問題解決に努める。
- ⑦ その他、指定障害児通所支援事業所の提供上必要な支援を行う。

3、職員配置状況(令和7年3月31日現在)

職 種	職員数	勤務形態
管理者	1	常勤・兼務
児童発達支援管理責任者	1	常勤・専従
児童指導員	3	常勤・専従、常勤・兼務
保育士	2	常勤・専従
訪問支援員	1	常勤・兼務
療育相談員	1	常勤・専従

4、発達・家族支援

①療育の内容

児童発達支援

1)年齢別クラス

- ・活 動 火・木・金は9時00分～11時00分、火は13時30分～15時30分年齢別クラスで支援を実施。
- ・対象児 年齢別(年長、年中、年少、0、1、2歳児)の各10名程度の子どもと保護者。
- ・目 的 小集団の活動を通して、日常生活や社会生活に適応できるような、運動能力、認知理解コミュニケーション能力を促す。また、保護者のいろいろな「困りごと」に対応。
- ・個別的指導 1日一定時間以上の個別的指導を実施。

2)身辺自立クラス

- ・活 動 月曜日から金曜日までの間(所要時間:約1時間)支援を実施。
- ・対象児 身辺面において「自立」に専門的な支援が必要とおもわれる子ども。
- ・目 的 「自分のことは自分で」の意識を育てることで人との関わりで大切なマナーを知ること为目的とし、子どもとその保護者に分かりやすい手順や場所の環境設定を指導。

放課後等デイサービス

- ・活 動 月曜日から金曜日まで支援を実施。
- ・対象児 就学児童の10名程度の児童とその保護者。
- ・目 的 生活能力の向上のために必要な訓練を行い、また、社会との交流を図ることができるよう指導及び訓練を行う。

※土曜日療育

- ・活 動 第2土曜日(療育時間:9時30分～11時30分)支援を実施。
- ・対象児 就学前又は就学児童の10名程度の子ども。
- ・目 的 自分のことは自分でい、保護者以外の人と関わる経験を積み、異年齢の子どもと関わる機会を作る。

保育所等訪問支援

- ・活 動 月曜日8時30分～17時30分
- ・対象児 障害児通所給付を受けた児童
- ・目 的 障害児以外の児童との集団生活に適応することができるよう、適切かつ効果的な支援を行う

一週間の流れ

曜日 時間	月	火	水	木	金	第2土
8:30～12:30	保育所等訪問	0,1,2歳児		年少児	年中児	8:30～12:30 ・児童発達支援 ・放課後等デイ ・身辺自立
13:30～17:30	保育所等訪問 放課後等デイ	年長児 放課後等デイ				
		放課後等デイ	放課後等デイ	放課後等デイ	放課後等デイ	

②利用者年齢別(令和7年3月31日現在)

	012	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3	高
男	2	4	6	8	6	6	4	2	0	0	0	0	0	3
女	0	2	2	2	0	2	5	1	2	0	1	0	0	1
計	2	6	8	10	6	8	9	3	2	0	1	0	0	4

③利用者障害別(令和7年3月31日現在)

種 別	児童発達支援
知的障がい	11
自閉症・情緒	12
肢体不自由	2
その他	1
未診断	0
計	26

種 別		放課後等デ－ビス
特別支援学校		5
支 援 学 級	知的障がい	8
	自閉症・情緒	12
	肢体不自由	0
通常学級・通級		8
計		33

※療育手帳 A1(1名),A2(1名), B1(3名), B2(1名)/※手帳 A1(1名), A2(2名), B2(6名),精神(1名),身障(2名)

④事故報告件数 0 件

⑤ヒヤリハット件数 2 件

⑥苦情相談件数 0 件（意見箱）

※令和7年3月、保護者等からの事業所評価と事業所における自己評価を行い、令和7年3月末に集計結果と業務改善点を廊下に掲示し、また、ホームページで公表している。

＜主要要望・改善点＞

- ・人数が多くなると接触があり狭く感じる。（児発保護者）同じ時間帯のグループをサーキットと別の部屋に分け活動し、利用人数を調整。また、親子を分離し、子どもとスタッフのみでサーキットでの活動を行う。
- ・個別の時間をとって欲しい。（児発保護者）担当スタッフから、個々に個別の声かけを増やし、希望される方は遠慮なくスタッフに伝えてもらえるよう、新年度説明会時に周知する。
- ・説明はありましたが、どんな時に利用料金が発生するなど、箇条書きでもいいのでプリントを渡して頂きたい。（放課後等デイ）新年度の説明時に書類を配布しているが、再度、漏れがないよう徹底していく。

⑦三次圏域（熊本県こども総合療育センター、県南部発達障がい者支援センターわるつ）からの支援

⑧評価

今年度より児童発達支援センターが地域の障がい児支援の中核を担うようになったため、4つの中核機能を意識した取り組みを行った。特に事業所内研修（5領域のポイントや困難事例検討など）を充実させることで、全スタッフが共通認識、理解のもとで支援にあたることができるように進めた。その結果、段階的ではあるが、児の現状、目標、見立てを的確にことばにして、確認した上で、支援にあたる力がついてきている。

⑨利用状況

区分 月	開所 日数	児童発達支援			放課後等デイ			月間 人数	一日平 均人数	前年度 一日平均 人数	家庭 連携	関係 機関 連携		保育所等訪問	
		契約 人数	延べ 人数	欠席 人数	契約 人数	延べ 人数	欠席 人数							実 人数	延べ 回数
4	22	29	58	2	43	115	5	173	7.9	8.3	28	4		0	0
5	22	29	73	5	43	104	5	177	8.0	8.9	15	12		0	0
6	21	24	75	6	42	107	8	182	8.7	8.2	12	8		0	0
7	23	24	67	6	42	113	8	180	7.8	9.2	5	18		0	0
8	20	25	64	4	42	96	4	160	8.0	9.4	1	10		0	0
9	20	25	78	2	40	93	5	171	8.6	9.4	7	12		2	2
10	23	24	89	0	38	102	1	191	8.3	9.9	10	0		3	3
11	20	24	79	2	37	90	8	169	8.5	9.4	9	9		2	2
12	20	24	75	9	36	93	9	168	8.4	9.9	5	7		2	2
1	20	26	79	5	36	86	11	165	8.3	9.6	1	5		2	2
2	19	26	77	4	36	86	11	163	8.6	9.7	2	8		2	2
3	21	26	81	8	33	91	7	172	8.2	9.7	1	7		1	1
計	251	25.5	895	53	39	1,176	82	2,071	8.3	9.3	96	100		14	14

⑩令和 6 年度行事实施表

月別	行事関係	療育関係	研修会関係
4	3 臨時職員会議 5 三者会議 17 職員会議 25 施設長会	9・11・12 新年度説明会 13 土曜療育(くつ洗い) 13 保護者交流会(ハンドジェル) 25・26 市特別支援教育就学説明会	
5	1 圏域通所支援事業所勉強会 1 三者会議 施設長庶務担当者会議 14 八代市特別支援連携協議会 16 監事会 17 職員会議 27 施設長会	7・21 ペアレントプログラム 10 就学相談 11 土曜療育(体操教室) 15 個別支援計画共有会議 28 保護者交流会	17 防災教育及び訓練
6	5 八代圏域通所支援事業所連携会議 12 八代市との協議(巡回支援事業) 14 職員会議 21 市教育支援委員会 26 施設長会	4 交通安全教室 就学相談 4・19 個別支援計画共有会議 8 土曜療育(バスボム作り) 18 就学相談 25 ペアレントプログラム 28 避難訓練(大雨・洪水時)	24 ペアレントメンター養成講座
7	18 職員会議 23 八代圏域障がい者支援協議会 25 施設長会	1・30 個別支援計画共有会議 6 土曜療育(ラムネ作り) 9 ペアレントプログラム 24 防犯教室(警察署)	17 療育研究(事例検討) 23 権利擁護研修会
8	1 三者会議 15 臨時施設長会 16 職員会議 18 氷川町教育支援委員会 27 施設長会 28 八代圏域通所支援事業所連携会議 29・30 台風接近のため閉館	7 土曜療育(おもちゃ作り教室) 13・27 ペアレントプログラム 19・21 異文化交流 21 個別支援計画共有会議	6 中堅教諭資質向上研修 19 実習生受入(30 日迄)
9	3 三者会議 13 県代表者会議 18 職員会議 25 施設長会 26 庶務担当者会議	3 就学相談 27・30 個別支援計画共有会議 28 土曜療育(体操教室)	2 実習生受入(9 日迄) 3 スキルアップ研修(角心 CP) 12 強度行動障害(基礎)研修 19・20 強度行動障害(実践)研修
10	2 三者会議 9 法人内協議 16 八代圏域通所支援事業所連携会議 17 職員会議 24 施設長会	3・17・31 ペアレントプログラム 5 土曜療育(体操教室) 7 防犯訓練(さすまた研修) 10 特別支援教育就学説明会 28 個別支援計画共有会議 30 消防総合訓練(放課後等デイ)	1 意思決定支援(基礎)研修 1・8 ペアプロ支援者養成講座 2 スキルアップ研修 21 実習生受入(25 日迄) 25 児発センター研修 29 虐待防止研修
11	1 三者会議 12 施設長会 21 職員会議 19 苦情解決第三者委員会 26 施設長会	9 土曜療育(体操教室) 25・29 個別支援計画共有会議 28 ペアレントプログラム 29 就学相談	22 ペアプロ資格研修 25 療育研究(事例検討)
12	3 三者会議 10 こども部会 11 市町との次年度整理票についての協議 13 療育相談員会・相談支援部会 13 八代市教育支援委員会 18 臨時通所支援事業所連携会議 25 施設長会	6 歯科指導 8 代陽校区ふれあい祭参加 17 クリスマスお楽しみ会(イオン慰問) 23 個別支援計画共有会議	11 2 中校区コーディネーター研修
1	6 三者会議 8 支援プログラム会議 15 職員会議 17 療育支援体制について、整理票協議 28 施設長会 29 八代圏域保護者交流会 31 三者会議	18 土曜療育(体操教室) 20 虐待防止委員会 20 感染予防対策委員会 27 個別支援計画共有会議	24 スキルアップ研修
2	8 三者会議 18 八代圏域障がい者支援協議会 25 職員会議 26 令和 7 年度事業所支援振分検討会議 27 八代圏域地域療育ネットワーク会議 27 令和 7 年度事業所支援振分検討会議	8 土曜療育(体操教室) 18 防犯教室 26 個別支援計画共有会議	26 障害児支援支給量基準及びタイムケ ア事業単価の説明会
3	3 三者会議 11 職員会議 14 県集団指導 19 八代圏域通所支援連携会議 25 施設長会	3 放デイ見学(年長児) 11 保寿寮慰問 12 消防総合訓練 13・18 ペアレントプログラムフォローアップ 22 土曜療育(体操教室) 26 おもちゃ作り教室 31 個別支援計画会議	11 事業所内研修

5、地域障害児支援体制強化事業報告書

(1) 目的

児童発達支援センター等の地域の中核的役割や機能強化を図ることにより、地域における障がい児支援の質の向上や、“気になる段階”から支援を行なうための体制整備を図り、発達障がい児等への支援やインクルージョンの推進等、地域における障がい児やその家族への支援体制の強化を図ることを目的とする。

(2) 事業の内容

①児童発達支援センター等の機能強化等

(ア) 児童発達支援センター等の質の向上と人材育成

○件数 17 件

- 主催・事業所内研修、勉強会 制度改正内容について（4／24、5／7、5／17）
- ・ペアレントプログラム 打ち合わせ・振り返り（5／8、5／10、5／23、3／14）
- ・事業所内研修 虐待について（10／29）
- ・支援プログラムについての協議・確認（12／26、1／8）
- ・事業所内研修 ハラスメントについて（3／6）
- ・事業所内研修 ヒヤリハット、保護者への伝え方について（3／11）
- 参加・療育相談員会議（7／5）
- ・権利擁護研修会（7／23）
- ・地域療育関係事業所連携会議（代表者会議）（9／13）
- ・児童発達支援センター研修（10／25）
- ・療育相談員会議（12／13）

(イ) 地域における障害児支援の質の向上

a 地域の障害児通所支援事業所等に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能

○件数 20 件

【定期支援（地域支援班に同行）】

- ・ドリーム華琉 言語聴覚士同行（6／20）
- ・風楽 心理士同行（7／31）
- ・自立サポート支援センター つぼみ 言語聴覚士同行（9／20）
- ・ゆいまーる 言語聴覚士同行（10／28、2／3）

【当センターによる支援】

- ・2nd さくら（講義）
題名：『こどもの意思決定支援～セルフアドボカシーの視点から～』
講師：八代圏域障がい者基幹相談支援センター アクロス 所長（10／4）
- ・風楽（11／6）
- ・2nd さくら 作業療法士同行（11／20）

【その他】

- ・第1回八代圏域地域療育関係事業所連携会議（6／5）
- ・八代圏域障がい者基幹相談支援センター アクロス あくろスペース周知（7／17）
- ・ドリーム華琉 保育園との連携について助言（7／18）

- ・第2回八代圏域地域療育関係事業所連携会議（8／28）
- ・第3回八代圏域地域療育関係事業所連携会議（10／16）
- ・臨時八代圏域地域療育関係事業所連携会議（12／18）
- ・2nd さくら 高校中退者のサービス利用についての相談対応（1／24）
- ・次年度事業所支援振り分けに関する話し合い（わるつ・こども総合療育センター地域支援班） 1回目（2／26）
- ・次年度支援希望事業所（4か所）と打ち合わせ（2／27）
- ・2nd さくら 次年度事業所支援についての打ち合わせ（3／10）
- ・次年度事業所支援振り分けに関する話し合い（わるつ・こども総合療育センター地域支援班） 2回目（3／11）
- ・第4回八代圏域地域療育関係事業所連携会議（3／19）

b 地域のインクルージョンの推進

○件数2件

- ・氷川町と今年度の療育相談員の動きについて打ち合わせ（4／19）
- ・八代市、氷川町と来年度の療育相談員の動きについて打ち合わせ（12／11）

c 障害が疑われるこども等、ハイリスクなこどもと家族のサポート

（令和6年4月～令和7年3月）

	八代市	氷川町
療育相談員による当センターでの支援（延べ件数）	104件	4件
療育相談員による訪問での支援（延べ件数）	9件	4件
専門職による当センターでの支援（延べ件数）	60件	6件
専門職による訪問での支援（延べ件数）	2件	3件
関係機関との情報共有（延べ件数）	122件	8件
医療機関等への紹介状・情報提供書作成	12件	

主催

- ・ペアレントプログラム
（5／7、21、6／25、7／9、8／27、11／14、3／13）
- ・八代圏域保護者交流会（1／29）
- ・児童発達支援センターのぞみ 保寿寮慰問同行（3／11）

参加

- ・ペアレントメンターコーディネーター活動 わるつ主催
（5／25、29、6／24、1／28、3／12）
- ・発達障がい児地域支援体制サポート講座（7／10）わるつ主催
- ・令和6年度 熊本労災病院事業報告及び事例検討会（11／12）

熊本県発達障がい医療センター主催

d 地域事業所等への研修等の実施

○件数7件

- ・令和6年度八代圏域支援日程調整会議、個別支援計画作成についての研修会（4／22）
- ・日程調整会議欠席事業所へ 再説明（4／30）
- ・個別支援計画についての事業所向け勉強会（5／1）
- ・アクロスと事業所向け研修会についての打ち合わせ（5／22）

- ・令和6年度八代圏域通所支援事業所 全体研修についての打ち合わせ※オンライン（10／16）
- ・令和6年度八代圏域通所支援事業所 全体研修 （11／27）
 題名：『触法行為の危険性を感じるお子さんへの支援～事業所でできることを考えよう～』
 講師：こども総合療育センター 地域支援班 心理士
 場所：希望の里 たいよう 参加者：52名
- ・第二中校区特別支援教育コーディネーター研修 （12／11）

（ウ）選択事業

○件数26件

- ・特別支援教育就学説明会（4／26）
- ・第1回こども部会（6／4）
- ・第1回八代圏域実務担当者会議（6／10）
- ・八代市特別支援教育相談員会・専門家合同会議（6／20、8／22）
- ・福岡県立大学研究協力（アンケート）（7／23）
- ・第2回こども部会（8／20）
- ・吃音についての対応へ回答 県障がい者支援課（9／5）
- ・第2回八代圏域実務担当者会議（9／24）
- ・阿蘇圏域 児童発達支援センターと情報交換（9／24）
- ・八代圏域の報告書についてのやりとり 県南広域本部（9／26）
- ・第3回こども部会（10／8）
- ・八代清流高校総合的な探究活動についての事前打ち合わせ（10／3）
- ・八代清流高校総合的な探究活動協力（インタビュー）（10／22）
- ・検査道具についての確認 学校教育課（11／7）
- ・整理表についての話し合い こども総合療育センター地域支援班・のぞみ（11／28）
- ・第4回こども部会（12／10）
- ・第3回八代圏域実務担当者会議（12／18）
- ・他圏域の児童発達支援センターへ地域療育体制支援図の資料提供依頼（12／27）
- ・八代圏域障がい者支援協議会及び専門部会運営の方向性に関する意見交換（1／16）
- ・ネットワーク会議の在り方についての検討会議（1／17）
- ・圏域整理票作成に関わる会議（1／17）
- ・第5回こども部会（2／4）
- ・八代地域療育ネットワーク会議（2／27）
- ・指定障害福祉サービス事業者等集団指導（3／14）
- ・相談支援部会：のぞみ・療育相談員の役割についての周知（3／19）

②巡回支援専門員整備

a 巡回等の活動計画の作成

- ・4月から6月に、対象園 市内65園、町内7園に事業説明
- ・市内の園については、アンケートで把握した希望時期に合わせて計画
- ・町内の園については、町保健師と一緒に年中児訪問を計画
- ・令和7年度に向けたアンケート（今年度評価と次年度希望）を実施

- ・令和6年度事業報告と令和7年度事業計画についての打ち合わせ（市障がい者支援課）

b 巡回等支援（令和6年4月～令和7年3月）

- ・訪問による支援とメールやFAXによる報告書への返し（延べ件数）

八代市	療育相談員	専門職同行
公立保育園	15件	2件
私立保育園	52件	8件
認定こども園	5件	0件
公立幼稚園	5件	0件
私立幼稚園	3件	0件
認可外・企業型	2件	1件
合計	82件	11件

氷川町	療育相談員	専門職同行
保育園	4件	0件
幼稚園	2件	0件
モデル園事業	2件	2件
合計	8件	2件

- ・圏域 保育士・幼稚園教諭向け研修会（講師：心理士）

1回目 『保護者への伝え方～気になる子の様子をどのようにつたえたらよい？～』（6／13）

会場：希望の里たいよう 参加者：51名

2回目 『保護者への伝え方～事例に基づいて関わりを学ぼう～』（9／3）

会場：パトリア千丁 参加者：53名

3回目 『保護者への伝え方～気になる子の様子をどのようにつたえたらよい？～』（1／11）

会場：氷川町公民館 参加者：28名

- ・八代市 私立保育園主任保育士・保育士向け研修（講師：療育相談員）

『気になる子どもへの対応～巡回支援専門員整備事業の事例を通して～』（12／4）

c 戸別訪問等

八代市	療育相談員	専門職
	0件	0件

氷川町	療育相談員	専門職
	0件	0件

d 関係機関との連携

○件数1件

- ・保育園での支援についてこども総合療育センターへ問い合わせ、確認

e 地域の体制整備への関与

f 専門性の確保

○件数6件

- ・幼稚園での支援について言語聴覚士に相談（7／26）
- ・講演会参加「読み書きに困難さがある子どもの理解と支援」（8／3）
- ・講演会参加「熊本県熊本市連携 発達障がいに関する講演会」（8／19）
- ・研修会参加「意思決定支援（標準編）」（10／1）
- ・熊本県発達障がい医療センター主催 発達障がい医療に関する研修会（3／4）
- ・成年後見制度啓発研修会（3／12）

令和6年度 共同生活援助事業 グループホームおおぞら荘 事業報告書

1. 設置目的

就労し又は就労継続支援等の日中活動を行っている利用者（知的障害者・身体障害者・精神障害者）に対して、地域において共同して自立した日常生活ができるよう必要な支援を行うことを目的とする。

- (1)設置者 社会福祉法人 八代市社会福祉事業団
 (2)ホーム名称 グループホームおおぞら荘
 (3)ホーム所在地 八代市本野町991番地1(令和4年6月1日移転)
 (令和5年5月1日B棟増設)
 (4)事業開始年月日 平成21年6月1日
 (5)定 員 12名(令和5年5月1日より)

2. 入居者状況(令和6年3月31日現在)

(1)定員12名(令和5年5月よりA棟6名、B棟6名)

事業名	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
助 共 事 同 業 生 活 援	入居者	12	12	12	12	11	11	11	11	11	10	10	10	
	入居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	退居	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3

(2)性別

男女別	人数	計
男	7	7
女	3	3
計	10	10

(3)市町村別

市町村名	男	女	計
八代市	6	3	9
人吉市	1	0	1
計	7	3	10

(4)平均年齢

性別	総年齢	平均年齢
男	348 歳	50 歳
女	164 歳	55 歳
計	612歳	51 歳

(5)障害種別

性別	知的	精神	身体	計
男	7	0	0	7
女	3	0	0	3
計	10	0	0	10

(6)年齢別

性別	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～60歳	61歳以上	計
男	1	0	1	4	1	7
女	0	0	1	1	1	3
計	1	0	2	5	2	10

3. 対象者

対象者	対 象 者 像
知的障がい者・ 身体障がい者・ 精神障がい者	健康で就労し又は就労継続支援等の日中活動を利用している知的障がい者・ 身体障がい者・精神障がい者

4. 職員配置

管理者	サービス管理責任者	世話人
1	1（世話人との兼務）	6対1

5. 支援内容

(1)日常生活支援

- ①居室清掃支援
- ②入浴への支援
- ③衣服の洗濯及び衣服の整理整頓への支援等
- ④買物への支援
- ⑤衣服の着脱への支援

(2)共同生活支援

- ①浴室清掃支援
- ②地域清掃支援
- ③食前の準備、食後の後片付け及び食器洗い等への支援
- ④余興の過ごし方への支援

(3)健康管理支援

- ①検温への支援
- ②薬の服用への支援
- ③歯磨き支援（食後）
- ④希望の里たいようと連携を取りながら対応した。

6. 支援計画

支援については、サービス管理責任者が、個別支援計画の原案の内容について、入居者又はその家族に対して説明し、文書により入居者の同意を得ることとし、個別支援計画を作成した際は、入居者へ交付し支援にあたってきた。

この個別支援計画は6カ月に1回以上定期的に個別支援計画の見直しを行い、必要に応じて、個別支援計画の変更を行ってきた。

7. 地域との交流（地域貢献）

毎月、グループホームおおぞら荘周辺の地域清掃（空き缶拾い、ごみ拾い）を行った。

8. 職員の資質向上に向けた取り組み

内部研修(虐待防止・身体拘束研修)の実施と外部研修への参加。

9. 支援結果(まとめ)

(1)日常生活支援

- ① 自分自身できることは、自ら行うことを基本にしてきた。(時々支援が必要)
- ② 入居者各々が自分自身の居室については、掃除を行い、清潔を保った。(時々支援が必要)
- ③ 日用品・食品などの購入の要望があり個別に買い物支援を行った。

(2)共同生活支援

- ① 自由時間はテレビ鑑賞、または、買い物(外出)・行事に出かけるなど楽しく過ごしていた。
- ② 外出した場合ホームへの帰宅時間等も各々、概ねが守れたが、連絡がなく遅くなることがあった。
- ③ トイレ・洗面所・お風呂・廊下など共有部分の掃除については、塩素系等で拭き上げるなどお互い協力し合い交替で行った。また、感染対策として世話人が再度、掃除支援を行った。
- ④ 食事について、感染症の対策として、個別に食事ができるよう対応した。
- ⑤ 避難訓練(水害・地震含む)を実施した。

(3)健康管理支援

- ① ホームへの帰宅後は手洗いうがいの励行、マスクの着用・消毒の徹底に努めた。
- ② 毎朝、自ら検温や健康チェックを行い健康管理に努めた。必要な場合には血圧などの測定を行った。(夜間時も含む。)
- ③ 服薬は、自らが薬箱等へセットできるよう支援し、できない方へは配薬を行い薬カレンダーへセットの支援し、食事時等に服薬確認を行った。
- ④ 体調が悪い時には、世話人で対応し必要な場合においては、事業所及び家族に連絡を行った。また、通院(定期通院を含)が必要な場合においては病院・歯科通院同行支援を行った。
- ⑤ その他、感染症など県が発表する流行期等を勘案しそれに応じた対応を行った。
(面会の制限・行事の自粛等)

(4)日中活動等への参加状況

就労場所	実 員	事業名	種 目				
			買物カゴ	公園	パン	印刷	軽作業
八代市立希望の里 たいよう	9名	就労移行支援事業					
		就労継続支援B型事業	3	2	2	1	1
熊本総合病院	1名	総合ビル管理(株) アスクメンテナンス	1				
地域移行	該当者無						

病気以外は休むことなく日中活動への参加を楽しみにしている。

令和6年度行事実施表

(グループホームおおぞら荘)

月別	行事関係	防災対策	施設管理	交流	その他
4	10 サッシ修理 窓修理 18 利用者検診 19 誕生会 25 家族会総会 13 レクリエーション	3 建物点検 浄化槽清掃 26 浄化槽清掃 27 消防立入検査 27 避難訓練	27 世話人会議	27 地域清掃	
5	11. 18 レクリエーション		23 世話人会議	29 地域清掃	
6	19 誕生会 1. 8 レクリエーション	29 避難訓練	5 担当者会議 20 世話人会議		
7	24 水質検査 24 誕生会 カラオケ 29 利用者退所 6 レクリエーション	29 避難訓練 26 防災食 洪水忍正避難訓練	20 世話人会議		8 熱中症予防研修
8	10 大掃除 17. 24. 31 レクリエーション	10 避難訓練	22 世話人会議 22 モニタリング		2 食中毒勉強会
9	7 グループホーム懇親会 7. 28 レクリエーション	9 消防設備点検 25 浄化槽点検	19 世話人会議 19 担当者会議		18 施設見学 かんね 17 たいよう総合防災訓練参加
10		26 避難訓練	1 担当者会議 17 世話人会議	5 いきいきスポーツ大会参加	23 施設見学 29 施設見学
11	9 レクリエーション	26 避難訓練	1 担当者会議 17 世話人会議	2 たいよう祭参加	23 施設見学 29 施設見学 11 感染症勉強会
12	16 利用者退所 20 忘年会 13 利用者検診 7. 14. 21 レクリエーション	27 防災食 28 避難訓練	19 世話人会議		11 施設見学 鏡わかあゆ支援
R7. 1	11. 13. 25. 28 レクリエーション 21 たいようお楽しみ交流会	27 避難訓練	20 区分調査 22 担当者会議 23 世話人会議		20 虐待防止委員会. 研修
2	3 豆まき 10 交通安全教室 15 レクリエーション	20 避難訓練	20 世話人会議	8 ふれあいフェスタ参加	
3	1 建築2年検査B棟 17 誕生会 24 利用者退所 25 利用者入居 8. 15. 22 レクリエーション	14 消防点検 30 避難訓練	10 担当者会議 13 世話人会議 19 担当者会議	5 地域清掃	13 県 集団指導

令和6年度 障害福祉サービス事業所 八代市立希望の里たいよう 事業報告書

1. 設置目的

常時介護を要する利用者への食事、入浴、排せつ等の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他、身体機能又は生活能力維持向上のための支援、又は、通常の事業所に雇用されることが困難な利用者への就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い自立した日常生活又は社会生活ができるよう支援をすることを目的とする。

2. 利用者登録状況(令和7年3月31日現在)

事業名	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
生活介護	登録人員	15	15	15	14	14	14	14	14	14	14	14	15
	入所											1	
	退所			1									
就労移行支援	登録人員	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	入所		1				1						
	退所			1				1					
就労継続支援B型	登録人員	62	61	61	61	59	62	63	65	66	66	69	70
	入所					3	1	2	1		3	1	
	退所	1			2								1
合計		76	77	75	73	76	78	79	80	80	83	85	84

①定員77名（生活介護事業12名・就労移行支援事業10名・就労継続支援B型事業55名）

※出勤稼働率 76.4% 前年度 75.8%

②性別

事業別	男	女	計
就労移行支援	0	0	0名
就労継続支援B型	44	25	69名
生活介護	8	7	15名
合計	52	32	84名

④市町村別

市町村名	男	女	計
八代市	48	31	79名
芦北町	3	0	3名
菊陽町	1	0	1名
九重町	0	1	1名
合計	52	32	84名

③平均年齢(満年齢)

性別	総年齢	平均年齢
男	2,361.6	46.3
女	1,357.6	42.4
合計	3,719.2	44.4

⑤障害種別

	生活介護	移行支援	継続B型	計
知的	12	0	51	63名
身体	2	0	10	12名
精神	1	0	8	9名
合計	15	0	69	84名

⑥年齢別

	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60歳 以上	合計
男	1	4	2	11	5	5	11	13	52名
女	1	5	0	2	2	14	6	2	32名
合計	2	9	2	13	7	19	17	15	84名

3. 職員配置状況(令和6年3月31日現在)

職 種	生活介護 常勤換算後の人数	就労移行支援 常勤換算後の人数	就労継続支援B型 常勤換算後の人数	計 職員数
管理者	1	1	1	1
サービス管理責任者	1兼務	1兼務	1.9兼務	2(管理者兼務)
看護師	1			1
職業指導員		0.5	9	10(兼務2)
生活支援員	2	1	1	6(兼務2)
就労支援員		0.5		1(兼務)
目標工賃達成指導員			1	1
事務員	0.5	0.5	0.5	1兼務
			職員合計	20

4. 事業実施内容(生活介護事業・就労移行支援事業・就労継続支援B型事業)

① 対象者

生活介護事業	就労移行支援事業	就労継続支援B型事業
・常時介護が必要な者で障害程度区分3以上の利用者、または年齢が50歳以上で障害程度区分2以上の者。	・一般就労を希望する65歳未満の者。利用は原則2年間。	・就労経験がある者で、年齢や体力の面で企業や就労継続支援A型等で雇用されることが困難となった者。 ・就労移行支援事業を利用した結果、就労継続支援B型の利用が妥当と判断され、企業や就労継続支援A型事業の雇用に結びつかなかった者。 ・既に50歳に達している者。

② 支援計画

支援にあたっては、利用者個々の特性、性格、能力及びその家庭環境を総合的に把握し利用者本人及び家族の要望、意見等を十分に聞き、各自一人一人に適した個別支援計画を定め計画に基づき支援に当たってきました。また、この支援計画は必要に応じて、見直しを行い支援に当たってきました。

(生活介護・就労継続支援B型は、6ヶ月に1回以上・就労移行支援は、3ヶ月に1回以上)

生活介護(生産活動)

・フルーツキャップ折・ボール・ビーズ等

職員数	利用者数	件数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
3 名	15 名	243 件	243 日	1,808 人	120,000 円	137,000 円
フルーツキャップ折を主とし、工賃支給により、意欲向上が図られた。						

・就労移行支援事業(職業指導支援)

・印刷事業

職員数	利用者数	件数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
3 名	12 名	763 件	243 日	2,412 人	17,782,000 円	18,393,105 円
官公庁、福祉施設、学校関係、一般企業等へ印刷物の販売を展開してきた。						

・パン製造・販売事業

職員数	利用者数	年間個数	延べ日数	延べ人員	パン種類	目標額	実績額
3名	12 名	33,694 個	242 日	2,284 名	40 種	5,466,000 円	5,531,928 円
主な販路は、委託販売として、八代市役所、マックスバリュ、アメックス、ぱんぺい湯。対面販売として、官公庁、福祉施設、学校関係、一般企業など。注文販売として、福祉施設、保育園関係。定期的なイベントの開催や、地域イベントでの出店などで販売を展開してきた。							

・就労継続支援B型事業(職業指導支援)

・買物カゴ洗浄事業

職員数	利用者数	個数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
2名	13名	507,640 個	243 日	2,607 人	5,786,000 円	5,776,288 円
イオンの経営の影響もあり、受注数が減少している。						

・公園作業

職員数	利用者数	作業場所	目標額	実績額	
2名	16 名	・麦島東公園 ・水無川公園 ・末広公園 ・上片墓園 ・金剛自然観察者用駐車場 ・横手本町児童公園 ・田中町児童公園	4,134,000 円	4,582,637 円	
・麦島東公園		作業稼働日数	145 日	延べ人員	1271 人
・末広公園		作業稼働日数	114 日	延べ人員	742 人
・水無川公園		作業稼働日数	118 日	延べ人員	823 人
・金剛自然観察者用駐車場		作業稼働日数	53 日	延べ人員	320 人
・上片墓園		作業稼働日数	60 日	延べ人員	381 人
・横手本町児童公園		作業稼働日数	112 日	延べ人員	633 人
・田中町児童公園		作業稼働日数	103 日	延べ人員	621 人
沖町児童公園に代わり、新たに横手本町児童公園・田中町児童公園の作業を実施。					

・軽作業

職員数	利用者数	作業種類			目標額	実績額
2名	15 名	フルーツキャップ折・シントワールド・箱折・EMボカシ販売・シール貼り・箱詰作業など			1,081,000 円	1,129,355 円
作業種		個数	延べ日数	延べ人員	委託元	
フルーツキャップ		1,347,983 個	241 日	2,893 人	インターナショナル・ケミカル(下請)阿蘇郡	
箱折		46,570 個	28 日	85 人	すずきパッケージ(下請)八代市	
アメニティー詰め		34,000 個	108 日	254 人	シントワールド	
EMボカシ製造・販売		1,563 個	6 日	50 人	自主製品	
シール貼り		1,643 個	7 日	22 人	西田精麦	
箱詰め		2,157 個	14 日	67 人	西田精麦	
パンフレット関係		489 枚	3 日	10 人	ひな祭り実行委員会(八代)	
施設外へ出向いての作業など、多様な作業に取り組んだ						

③ 利用者月額平均工賃 (全体の平均)

生活介護 15名	就労移行 2名	就労B型事業 69名	一人当たりの月額平均工賃
778円	5,100円	21,378円	14,214円

5. 移行支援事業 就労基本訓練

・期日 毎週火・木曜日 ・時間 15:30~16:00	・就労への意識付け ・挨拶の重要性について ・パソコンに関する知識の向上 ※利用者:令和6年度は該当者なし。	・就職に必要な心構えについて ・履歴書の書き方
--------------------------------	---	----------------------------

6. 送迎サービス

たいよう送迎利用者			徒歩	自転車	自家用車送迎	自家用車	バイク
コース	車種	人員					
南廻り(郡築方面)	リフト付きマイクロバス	14名	15名	10名	12名	2名	1名
北廻り	29人乗りマイクロバス	14名					
鏡町廻り	8人乗りワゴン	5名					
日奈久廻り	9人乗りバン	5名					
金剛廻り	8人乗りワゴン	4名					
宮地廻り	4人乗り軽	2名					
計	6台	44名	15名	10名	12名	2名	1名
合計		44名					

※送迎支援を実施した結果 ・利用者定員の確保に繋がった。 ・出退勤時の交通事故防止に繋がった。

7. 日常生活支援

- ・基本的生活（挨拶、身だしなみ、清潔等）、金銭管理、交通安全等の支援
- ・自立するための段階的な支援
- ・利用者間のトラブルの未然防止に努める。（意見箱設置、口頭による意見要望）
- ・利用者の悩み、問題等への相談支援を行ってきた。

8. 健康管理

- ・出勤時の検温、体調確認、手洗いうがい、手指消毒、換気などコロナ感染症対策実施。
（消毒器の設置、空気清浄機、イオン発生機の設置、パーテーション設置、食事場所の分散など）
- ・コロナに関する家族との連携。
- ・毎月1回の身体測定（身長、体重、血圧、体温）年一回の健康診断の実施
- ・サービス提供中、健康状態の把握に努めた。

9. 地域との交流・地域貢献

- ①中学校、高校生、短大、大学との実習を含めた交流、職場見学等の受入れを行った。
- ②個人、支援学校、中九州短期大学、中学校、インターシップの実習を受け入れた。
- ③地域のお祭りなどに参加
- ④施設周辺の清掃を行った。（ゴミ拾い、空き缶拾い、草取り）
- ⑤千の穂さんと共同で、施設に隣接する歩道と花壇の清掃を実施した。
- ⑥災害時の地域住民の受入れや福祉避難所開設。
- ⑦依頼に応じ、地域団体への駐車スペースや会議室、コミュニティーホール貸出

10. 職員の資質向上に向けた取り組み

- ①定期的な内部での勉強会の実施と外部研修への参加。
- ②資格取得に向けた支援体制の確立。
- ③事業継続計画(大規模災害並びに感染症 BCP)
 - ・計画書に基づく、初動対応の確認を実施した

11. 支援結果

(1)生活介護事業

- ・食事、トイレ介助は利用者に合わせ個別支援を行った。
 - ・軽運動：肥満傾向にあった利用者が減量できた。歩行困難な利用者の下肢強化に繋がった。
 - ・学習活動、創作活動、余暇活動、生産活動
- ①簡単な計算や、文字を繰り返し学習する事で、ご自身でサインができるようになった。
 - ②創作活動では、季節ごとのイベントで周囲利用者の方々にも楽しんでもらえるように展示を行った（クリスマスツリー・七夕飾り等）。余暇活動では、特にドライブを通じて、外出する喜び・季節を感じる事ができる喜びを養う事ができた。
 - ③ 生産活動を取り入れる事で、メリハリのある一日を過ごす事・残存能力を維持できる事ができた。

(2)就労移行支援事業

①パン製造・販売

- ・利用者各々自らが担当する作業に対して責任感が出てきている。
- ・パン販売をとおして、接客、電卓、レジ等の技術向上に繋がった。

- ・毎日、朝礼時に挨拶・接客時の声だし訓練(いらっしやいませ・ありがとうございました)を行うことで全員が大きな声でいえるようになってきた。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。

②印刷作業

- ・印刷関連機器(パソコン、製本機、リ付け機、計数機)の操作について利用者の技術向上がみられる。
- ・指導により作業上で使用する数字の把握ができるようになってきた。
- ・全体的に利用者の自主性、集中力、忍耐力、持続力等が身についた。
- ・作業場内での協調性が高まってきた。
- ・細かい技術面の支援により、利用者の方々一人ひとりが取り組める作業内容を増やすことが出来た。
- ・他作業場の手伝い等で、より多くの作業を経験することができた。

(3)就労継続支援B型事業

①買物カゴ洗浄作業

- ・作業内容を効率化することで、より作業を進めることができるようになった。
- ・自らの役割を理解し自主的に行動に移せるようになってきた。
- ・話しやすい環境を作ることで、自然と挨拶・返事が出来るようになり、発言する機会も増えてきた。

②公園作業

- ・作業前の準備を意識できるようになった。
- ・作業準備が協力して行えるようになった。
- ・それぞれの役割を意識できるようになった。
- ・草刈り機や芝刈り機などの機械操作ができるようになった

③軽作業、

- ・挨拶、返事の習慣が身についた。
- ・主にフルーツキャップ折、ボカシ製造等を通して、協調性、持続性が身についた。
- ・手先を使う作業が多い事から、手先等の機能回復に繋がった。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。
- ・作業種類が複数あるため個別に合った作業を提供可能。

11. 自主事業の実施

たいよう祭(自主事業)を開催。地域の事業所や、福祉団体等で協力して実施。

12. 苦情解決・第三者委員への報告

- ①前年度アンケートをもとに、苦情・要望に関する案件を報告した。(令和6年9月)
 - ②職員会議にて内容を精査、共有し、支援内容の改善に努めた。
- ※第三者委員へ提出する重大な案件はなかった。

令和6年度行事実施表

(八代市立希望の里たいよう)

月別	行事関係	防災対策	施設管理	作業実習生関係	交流	研修会関係
4	1～利用者体調週間 13 レクリエーション 18 利用者検診40歳以上(保健センター)	23 避難訓練	3 臨時職員会議 9 生活介護会議 10 就労移行会議 10 就労B型会議 17 職員会議	9 市職員実地研修	10 地域清掃	
5	2 誕生会(生活介護) 9 特定保健指導 11 レクリエーション 11 家族会総会 18 レクリエーション		8 就労移行会議 8 就労B型会議 10 生活介護会議 15 職員会議		14 実習打合 八代支援 15 資源回収 24 オリエンテーション 中短 29 地域清掃 30 施設見学 ラポール	13 八障協議 28 城南ブロック施設長会
6	1 レクリエーション 4 市モニタリング 8 レクリエーション 18 誕生会(生活介護)	27 避難訓練	12 就労移行会議 12 就労B型会議 14 生活介護会議 12 就労B型会議 14 職員会議	3-18実習受入 中短 17-28 実習受入 八代支援	7 実習挨拶受入 八代支援 3-18実習受入 中短 20 実習反省会 26 実習反省会 27 職場体験事業所訪問 28 実習反省会	13 いきいき福祉スポーツ大会会議 18 就労支援部会 21 八障協総会
7	6 レクリエーション 26 社会科見学(生活介護)	2 洪水時避難訓練	10 就労B型会議 16 生活介護会議 17 職員会議	3-5 職場体験学習 30 体験実習	9 地域清掃 17 オリエンテーション 中短 22 施設見学受入 スマイル	8 熱中症予防研修(たいよう利用者) 16 福祉事業所説明会 鏡わかあゆ支援 18 福祉事業所向学校公開 鏡わかあゆ支援 24 事業所説明会 八代支援 21 手をつなぐ育成会総会
8	7 たいよう祭打合せ会議 17 レクリエーション 24 レクリエーション 31 レクリエーション	23 避難訓練	6 就労移行会議 6 就労B型会議 9 生活介護会議	19-9/3 実習受入 中短 21・23 実習受入 B型 26-9/13 実習受入 スターホーム 26-9/6 実習受入 ルーテル	5 城南ブロックすまいるフェスタ 19 施設見学受入 アクロス 20 実習打合 ルーテル 21 施設見学 松西支援 21 勉強会施設見学受入 氷川町身障者福祉会 22 実習打合 八代支援 26 施設見学受入 彩福 27 施設見学受入 菊愛会	2 食中毒勉強会(たいよう利用者) 2 施設長・職員研修会 7 職場OJT推進研修会
9	2-6 利用者体調週間 7 レクリエーション 17 たいよう祭打合せ介護 21 レクリエーション 25 誕生会(生活介護) 28 レクリエーション	17 総合防災訓練	11 就労B型会議 13 生活介護会議 20 職員会議	1-3 実習受入 中短 5 実習受入 学園大 30-10/11 実習受入 戸北支援 30-10/11 実習受入 八代支援	4 実習打合 鏡わかあゆ 6 施設見学 八代支援保護者 9 施設見学 戸北支援 10 施設見学 スマイル 10 実習打合 鏡わかあゆ 19 鏡町民児協研修開催	3-4 キャリアバス研修管理者コース 3 児童発達支援センター研修 20 ミドルヘルス研修会 28 たいよう祭実行委員会
10	5 いきいき福祉スポーツ大会参加 7-11 利用者体調週間	22 避難訓練	16 就労B型会議 22 生活介護会議 23 職員会議	1-11 実習受入 八代支援・戸北支援 2 実習受入 八代支援 7-11 実習受入 八代支援 7-18 実習受入 鏡わかあゆ 29 体験利用 相談かんね	11 実習振り返り 八代戸北支援 18 高田小との交流会 21 高田小との交流会	2 虐待防止研修 17 食品衛生講習会 23 就労支援部会 29 組織マネジメント研修
11	2 たいよう祭 6 社会科見学(パン班) 7 利用者体調測定 9 レクリエーション 19 社会科見学(軽作業) 29 社会科見学(公園・カゴ)		13 就労B型会議 20 職員会議 22 生活介護会議	11-15 実習受入 松西支援 27 実習受入 就労B型	6 施設見学受入 アクロス 19 施設見学受入 児童相談所	11 利用者向け感染症勉強会 19 就労支援部会 12-13 福祉組織のDX勉強会 22 ハラスメント防止研修 26-27 キャリアバス対応中堅職員研修
12	2～ 体調測定週間 7 レクリエーション 13 利用者健康診断 14 レクリエーション 21 レクリエーション 27 利用者仕事納め		11 就労B型会議 17 生活介護会議 20 職員会議	5 体験利用 11-12 実習受入 鏡わかあゆ 19 体験利用 パン作業	3 施設見学受入 彩福 4 施設見学受入 しおん	10 城南ブロック施設長会議 19 就労支援部会
R7.1	6 仕事始め式 6～ 体調測定週間 11 初詣 13 レクリエーション 14 成人の祝 18 レクリエーション 21 お楽しみ会 25 レクリエーション 28 ぜんざい会	20 避難訓練	10 生活介護会議 14 就労B型会議 20 職員会議	27 実習受入 中短	15 施設見学受入 すまいる 施設見学受入 こぼし	7 コンプライアンス研修 20 虐待防止研修 27 就労支援セミナー
2	3 節分豆まき 3～ 利用者体調週間 8 ふれあいフェスタ参加 10 交通安全教室 15 レクリエーション	21 避難訓練	6 就労移行会議 6 就労B型会議 14 生活介護会議 19 職員会議	3-4 体験利用 パン作業 13-26 実習受入 児童養護施設	5 施設見学受入 オシャン	10 共同受注意口会議 20-21 サビ管更新研修
3	3～ 利用者体調週間 6 社会科見学(軽作業) 8 レクリエーション 15 レクリエーション 21 社会科見学(カゴ班) 22 レクリエーション	25 総合防災訓練	7 生活介護会議 11 就労B型会議 19 職員会議	12,14 実習受入 相談たいよう 14 実習受入 相談たいよう 24-28 実習受入 児童養護施設	5 地域清掃 13 八代支援学校卒業式 14 就労支援部会懇親会 17 施設見学受入 アクロス	13-14 県 集団指導